

危険！環境破壊！住環境守れ！

3.3~4.3^m幅通学路に 大型ダンプ

取手市は 住環境と安全を守る立場で
業者への指導徹底を



市議会議員 加増みつ子

日本共産党

市は、2018年4月に「埋立て条例」を改正し、「許可申請前に、事業者に必要な指導・助言を行い、市も事前に事業内容を把握する制度を整える」とする事前協議制を導入しました。しかし事態は、市・事業者ともに、住民の安全と住環境を守ることへの配慮がされず

に起きたものです。市は、住環境を守る為の条例の立場に立ち、再度の説明会開催・住民の納得いく誠実な対応をとるよう、事業者への指導を責任もって行うべきです。私も、地域住民の皆さまと力を合わせます。

この数年、上高井・下高井地域は、谷津田や湿地などへの大規模な埋立てが行われ、住民は悩まされてきました。そんな中、またもや天神やつでの大規模な埋め立て計画が突然浮上。住民は不安をつのらせています。事業者は埋め立ての目的を「畑地造成」としていますが、多くは残土の捨て場が実態です。



下高井字天神谷津(大蔵団地付近)

工事は約1年
ダンプ1日最大50台/年2,400台

(11月10日、現地説明会での住民と業者のやりとりから)

説明会を再度開いてもらいたい！
行う予定はない。

ダンプの出入りで、振動・騒音は大丈夫か？
道路が狭いのでスピード出せない。運転手に徹底する。

自然破壊ではないか？
もとは田んぼだったので木はない。

民間保育園も再説明会を要請

- 業者説明会では、住民の不安や心配に「配慮する」というが、誠意は感じられず、参加者の不安がつのった。
- 住民や学童・園児たちの通学・散歩道であり、危険や不安が強いられる。
- 再度の説明会を行うよう業者への指導を求める。

市長あて 近隣の民間保育園(とねっこ)が要請

埋め立て計画の概要

(業者発行の事業概要書及び説明会より)

目的	盛土して畑地造成工事を行う
工事期間	2019年12月～約1年間(予定)
工事概要	4,858㎡を盛土 日・際日を除く9:00~17:00迄
	*ダンプ運行 1年間で2,400台 1日最大50台
事業主	土子建材
	連絡先 株式会社アクティブ

(アクティブは、3年前同近隣地域の埋め立て実施業者)

明るい取手

2020年1月号外 日本共産党取手市委員会
日本共産党取手市委員会の見解を紹介します。
302-0011 茨城県取手市井野3-19-5 ☎0297-72-7816 Fax 72-7817



http://toride-jc.com
https://toride-jc.com